

親鴨会 2024年7月メッセージ (区切りの年)

4月に開催した総会の報告と会員の皆様からいただいた近況をまとめて、親鴨会サイトにアップするとともに、「親鴨だより」として発行いたしました。本部・各支部の活動についても確認いただくとともに、職場を共にした旧友の方々の近況情報に目を通して頂きたいと思います。名前とともに懐かしさと安堵が蘇りますね。

今年も半分が過ぎました。団塊の世代真ただ中の一人としては喜寿を迎える区切りの年です。この数年はコロナ禍もあり開催を控えていた小学校をはじめ中・高や大学のクラス会や学年会なども昨年から徐々に再開してきました。この間に先立った友を偲びつつ、ワイワイと集い、語らう仲間達との懇談は、何十年の時間も簡単に巻き戻してくれます。

小学校のクラス会では女性陣がお互い苗字ではなく「圭子ちゃん」とか「住江ちゃん」と呼び合う姿を見ているとまるで小学六年生の放課後の教室のようです。こうしたクラス会も現役の頃は夜に集まっていたましたが、今となっては昼に集い夕方には解散するというのも自然な姿でしょう。

「来年も会おうね」と皆笑顔で別れたあと、帰りの電車のつり革に掴まりながら、昔の日記帳を閉じるようにゆっくりと気持ちを日常に切り替えて行きます。